

# 日大で裏口入学斡旋疑惑

## 「アメフット部の推薦枠使う」

学生アメリカンフットボール界の名門・日本大学アメフット部の元主将が、「スポーツ選手の特例枠を使って入学できる」として部内の医療法人会長らから工作資金として約五千万円を受け取ったとまやかしを繰り返していることが十五日、明らかになった。元主将は周辺の関係者に「過去二、三人を特別枠で入学させたことがある」とも話しているという。この会長は近く大阪府で元主将を捜査当局に告訴する。

## 元主将が5000万円詐取

### 近く告訴へ

医療法人会長によると、平成六年夏ごろ、茨城県高萩市内の開業医から「長野県内の私立歯学部を四年で中退した息子(仮名)を日大歯学部へ編入させてほしい」と頼まれ、現金四千万円を預かった。

同年十月ごろ、大阪府内の不動産業者に相談したところ、「裏割がある男」として元主将を紹介され、「四年生から編入できる」との約束を取り付けた。その際、元主将は「アメフット部の入学枠を使う。枠の範囲では裏割があるから大丈夫だ」と説明をした。

元主将は工作資金として現金五千万円を要求したため、会長は平成七年三月に現金二千万円を、同年五月に三千万円を渡したという。他にも接待費用や雑経費として一回一回一千万円、五十万円の計八百五十万円を数回に分けて元主将側に渡したとしている。

同大学の編入試験は毎年

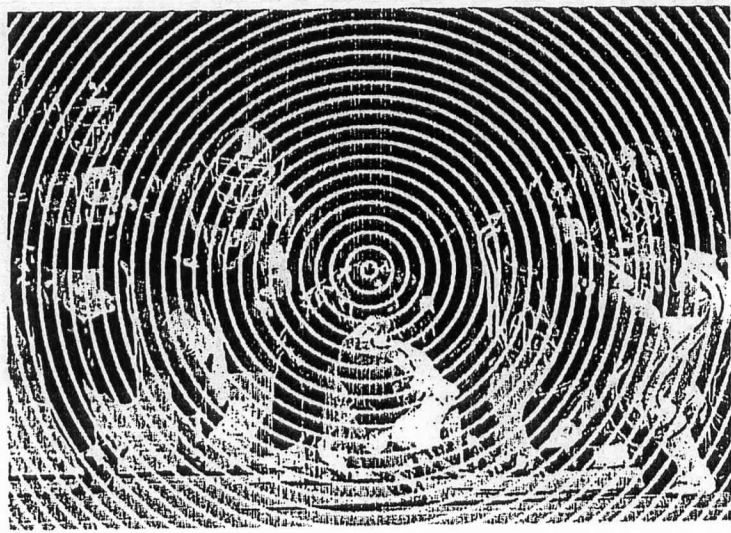
十月に実施されるが、試験一環に関する指示をせず、「らな」などと話すだけ。学関係者に引き合わせる日が続いても元主将側は受「特別枠だから試験などい」で、書類も提出させず、大いともなかったという。

「約束すれば何でもない。(元主将は)破門だ。元主将による裏口入学詐欺の疑惑が表面化した日大アメフット部「フェニックス」には波紋が広がった。関係者からは「元主将は在籍中にリーダーシップを押しつけて強いアメフット部を作り上げ、同部は黄金期を迎えた」とい

う。卒業後も年に数回は練習に顔を出していたが、不定期に練習場へ顔を出さなくなると、関係者からは「元主将は黄金期のリーダー……名門、チームに波紋」

で、体育会最大の推薦枠をもっていた。「推薦枠を取るなら私に話があつてしかるべきで、それがないという上は彼の独断でやった詐欺ではないか」と関係者からは驚きを覚える。この推薦枠は高校在学中にスポーツで優れた実績を上げた選手を入学させる制度で、高校の校長の推薦状や活版を添えて提出することが義務づけられているという。書類審査のうえに最終的な合否が決まる。関係者は「入部するクラブに贈り物として百万円から一千万円程度の寄付をする」と話しているが、かりに寄付だとしても五千万円は異常な高額」と指摘している。

甲子園水球などで数々の栄冠を勝ちとった、名門、日大アメリカンフットボール部で、元主将による裏口入学疑惑が浮上した



その後、この息子は入学できなかったことが分り、会長は「裏口入学を頼んだことは本当に恥ずかしい。たまされた私も悪い」と話しながら、「人の弱みに付け込んだ」として、元主将を捜査当局に詐欺罪で告訴する。

日大広報部は「関係者の取材に対し『そのまゝな事実があれば、しっかりと調査したい』と話している。